



# 安全データシート

Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2025/09/25 バージョン: 1.0

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Raka-Ray No. 3 Agar  
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]  
製品コード : NCM0192  
Part Number(s) : NCM0192|700004606|700004607

### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化学研究及び開発、分析用薬剤

### 会社情報

#### 仕入先

Neogen Corporation  
48912  
United States of America Michigan Lansing 620 Leshler Place  
T 800.234.5333  
[sds@neogen.com](mailto:sds@neogen.com) - <https://www.neogen.com/>

#### 輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社  
220-0012  
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい 3-3-3 横浜コネクトスクエア  
12階  
T 045-211-4615

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:  
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)  
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない

# 安全データシート

## Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

	急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Citric acid ammonium salt	≥ 1 - < 5	(1)-391,(2)-1318	2-(4)-139	3012-65-5
Manganese sulfate	≥ 0.5 - < 1	(1)-477	既存化学物質	7785-87-7

### 4. 応急措置

#### 応急措置

応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: 救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。 粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。 本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。

# 安全データシート

## Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

### 医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤  
使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。  
火災危険性 : 火災の危険は一切ない。  
爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。  
火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。  
消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。  
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。  
消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。  
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

### 非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。  
応急処置 : 漏出エリアを換気する。

### 緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。  
応急処置 : 不要な職員を退避させる。

### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆います。  
浄化方法 : 製品は機械的に回収する。  
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : データなし  
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
個人用保護具を着用する。  
接触回避 : データなし

# 安全データシート

## Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

### 保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。  
安全な容器包装材料 : データなし  
技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。  
容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。  
保管温度 : 2 - 30 °C

## 8. ばく露防止及び保護措置

Manganese sulfate (7785-87-7)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	硫酸マンガン (MnSO <sub>4</sub> ) # Sulfuric acid, manganese(2+) salt (1:1)
許容濃度	0.02 mg/m <sup>3</sup> 吸入性粉塵、Mn として、有機マンガン化合物を除く 0.1 mg/m <sup>3</sup> 総粉塵、Mn として、有機マンガン化合物を除く
規則参照	JCDB の調査による
日本 - ばく露限界値 (管理濃度(厚生労働省))	
現地名	硫酸マンガン (MnSO <sub>4</sub> ) # Sulfuric acid, manganese(2+) salt (1:1)
管理濃度	0.2 mg/m <sup>3</sup> Mn として
規則参照	作業環境評価基準 平成 29 年度版

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

### 保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。  
呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。  
手の保護具 : 保護用手袋  
眼の保護具 : 安全メガネ  
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。  
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体  
外観 : 粉末  
色 : ベージュ色  
臭い : 特異臭  
pH : 5.2 - 5.6  
融点 : データなし  
凝固点 : データなし  
沸点 : データなし  
引火点 : データなし  
自然発火点 : データなし  
分解温度 : データなし  
可燃性 : データなし  
蒸気圧 : データなし

# 安全データシート

## Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

Raka-Ray No. 3 Agar	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の 69.43%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の 97.98%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の 97.98%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Manganese sulfate (7785-87-7)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、782 mg/kg (ATSDR (2012)) との報告に基づき、区分 4 とした。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	2150 mg/kg (Rat, Male / female, Experimental value, Oral)
LD50 経口	782 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	> 4.45 mg/l air (OECD 403: Acute Inhalation Toxicity, 4 h, Rat, Male / female, Experimental value, Inhalation (dust))
LC50 吸入 - ラット (粉じん/ミスト)	> 4.45 mg/l Source: ECHA

皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
-----------	----------

# 安全データシート

## Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Raka-Ray No. 3 Agar	
pH	5.2 – 5.6

Manganese sulfate (7785-87-7)	
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

Raka-Ray No. 3 Agar	
pH	5.2 – 5.6

Manganese sulfate (7785-87-7)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性 : 分類できない

Manganese sulfate (7785-87-7)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない

Manganese sulfate (7785-87-7)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Manganese sulfate (7785-87-7)	
生殖細胞変異原性	In vivo では、マウスの骨髄細胞を用いた小核試験で陽性 (NITE 初期リスク評価書 (2008)、ATSDR (2012)、CICAD 12 (1999))、in vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性である (NITE 初期リスク評価書 (2008)、ATSDR (2012)、CICAD 12 (1999))。以上より、ガイダンスに従い区分 2 とした。

発がん性 : 分類できない

Manganese sulfate (7785-87-7)	
発がん性	ラット及びマウスに硫酸マンガン一水和物 (CAS 番号 10034-96-5) を 2 年間混餌投与した発がん性試験において、ラットでは雌雄ともに腫瘍発生の増加はなく発がん性の証拠はないとされた。一方、マウスでは雄に甲状腺濾胞細胞腺腫、雌に甲状腺濾胞細胞の過形成が示され、発がん性の不確かな証拠 (equivocal evidence) と結論された (NTP TR428 (1993)、CICAD 12 (1999)、NITE 初期リスク評価書 (2008)、食品安全委員会清涼飲料水評価書 (2012))。この他、マウスに本物質を腹腔内投与 (30 週間に 22 回) した試験では肺に腫瘍発生がみられたとの報告がある (NITE 初期リスク評価書 (2008)、CICAD 12 (1999))。国際機関による発がん性分類結果はないが、WHO はマンガンの発がん性について、げっ歯類での不確かな証拠と他種での証拠が不足していることから、結論は下せないとの見解を示した (CICAD 12 (1999))。また、食品安全委員会はマンガンの発がん性について、ヒトへの発がん性を示す知見は得られていないと結論した (食品安全委員会清涼飲料水評価書 (2012))。以上、マンガンを対象とした WHO 等の見解を踏まえ、本項は分類できないとした。

生殖毒性 : 分類できない

# 安全データシート

Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

## Manganese sulfate (7785-87-7)

生殖毒性

本物質を妊娠マウスに単回腹腔内投与した試験で、胚吸収、奇形(外脳症)などがみられたが、大量のマンガンを腹腔内投与するという特殊な条件下での結果で、ヒトへの適用は困難であると報告されている(NITE 初期リスク評価書(2008))。本物質以外では塩化マンガンの四水和物(CAS 番号 13446-34-9)を雌雄マウスに交配前 12 週間飲水投与後に無処置の雌雄と交差交配した結果、1,000 mg/L (44~48 mg Mn/kg/day) 以上で飲水量の減少がみられ、8,000 mg/L (277~309 mg Mn/kg/day) では授精率の低下が雄に、着床率及び生存胎児数の減少が雌にみられた(食品安全委員会清涼飲料水評価書(2012)、ATSDR(2012))。四酸化三マンガンの(CAS 番号 1317-35-7)を交配前 90~100 日間混餌投与した試験では 130 mg Mn/kg/day の雌で妊娠率の低下がみられた(CICAD 12(1999)、ATSDR(2012))。塩化マンガンの(CAS 番号 7773-01-5)を妊娠ラットに妊娠期間を通して飲水投与した試験では、母動物に着床後胚損失の増加がみられた 75 mg/kg/day (33 mg Mn/kg/day) で、児動物に骨と内臓の発達遅延、内反足など外表奇形の発生頻度の増加が認められた(食品安全委員会清涼飲料水評価書(2012)、ATSDR(2012))。塩化マンガンの四水和物を雌ラットに妊娠 15~20 日前から分娩 1 ヶ月後まで飲水投与し、生後 40 日齢の児動物の脳を調べた結果、10 mg/kg/day (2.8 mg Mn/kg/day) 以上で大脳皮質のマンガンの濃度増加、全脳部位で神経細胞の 7~10%に変化、グリア細胞数の用量依存的増加、側坐核で顕著なグリオーシスが認められた(食品安全委員会清涼飲料水評価書(2012))。既存分類では日本産業衛生学会がマンガンの及びマンガンの化合物に対して生殖毒性物質第 2 群(区分 1B 相当)に分類している(産衛学会許容濃度の勧告(2016))。以上、マンガンの化合物の生殖発生毒性影響として、親動物の一般毒性影響が概ね明らかでない用量で雌雄とも生殖能低下、児動物に発育遅延、外表奇形、脳神経系への影響などの知見があること、及び産衛学会の分類結果に基づき、本項は区分 1B とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 分類できない

## Manganese sulfate (7785-87-7)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。本物質のヒト及び実験動物での単回ばく露の情報は無い。本物質は無機マンガンの化合物であり、水に可溶との情報がある(環境省リスク評価第 6 巻(2008))。他の可溶性マンガンの化合物では、酢酸マンガンの(II)(CAS 番号 638-38-0)、硝酸マンガンの(II)(CAS 番号 10377-66-9)、塩化マンガンの(II)四水和物(CAS 番号 13446-34-9)は、いずれも本物質と同様に単回ばく露の影響の情報がなく、平成 28 年度 GHS 分類において、データ不足のため分類できないとされている。本物質ではないが、不溶性マンガンの化合物である二酸化マンガンの(CAS 番号 1313-13-9)及びマンガンの粉じんではヒトで肺への影響が報告されており(CICAD 12(1999))、旧分類はこの情報を参考として本物質を区分 1(呼吸器)と分類していたが、不溶性マンガンの粉じんの吸入ばく露と可溶性の本物質では呼吸器への影響が異なる可能性がある。以上、本物質の影響の情報がなく、他のマンガンの化合物に関しても参考とできる情報がないことから、分類できないとした。旧分類から分類結果を変更した。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 分類できない

# 安全データシート

## Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

### Manganese sulfate (7785-87-7)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ヒトについては本物質の情報はないが、ヒトにおいて経口又は吸入経路でマンガンを過剰にばく露されると、急性影響としては記憶障害、精神症状などがみられ、慢性影響としては歩行障害、言語障害などパーキンソン病に類似したマンガン中毒の症状がみられる。特に吸入ばく露において重篤な影響がみられる(NITE 初期リスク評価書 (2008))。経口経路では高濃度のマンガンを含む井戸水を摂取した事例や、マンガン濃度の高い地域に居住する住民に対する疫学調査において、仮面様顔貌、筋硬直、振戦、及び精神障害などマンガン中毒に似た症状が報告されている(NITE 初期リスク評価書 (2008))。マンガン酸化物、マンガン塩製造工場において、二酸化マンガンを、四酸化三マンガンを、マンガン塩(硫酸塩、炭酸塩、硝酸塩)の粉じんのばく露による神経行動学的機能への影響の報告がある(NITE 初期リスク評価書 (2008))。二酸化マンガンでの職業ばく露により、マンガン中毒による神経毒性の報告があり、視覚の単純反応時間及び眼と手の協調運動の低下に加え、手の硬直がみられた(SIDS (2012)、NITE 初期リスク評価書 (2008)、ATSDR (2012))との報告がある。また、二酸化マンガンを主体とするマンガン化合物では呼吸器障害(咳、気管支炎、肺炎など)を生じることが多くの報告事例で明らかにされている(ATSDR (2012))。実験動物については、本物質の情報はないが、一水和物についての情報がある。ラット、マウスを用いた混餌投与による13週間反復経口投与毒性試験、ラット、マウスを用いた混餌投与による2年間反復経口投与毒性試験において区分2のガイダンス値の範囲内で有害な影響はみられていない(NTP TR428 (1993)、NITE 初期リスク評価書 (2008))。以上、ヒトにおいて神経系及び呼吸器への影響の可能性があることから、区分1(神経系、呼吸器)とした。

誤えん有害性

: 分類できない

### Manganese sulfate (7785-87-7)

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般

: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期(急性)

: 区分に該当しない

水生環境有害性 長期(慢性)

: 区分に該当しない

### Citric acid ammonium salt (3012-65-5)

LC50 - 魚 [1]

59400000 mg/l Source: ECOSAR

EC50 96h - 藻類 [1]

21600000 mg/l Source: ECOSAR

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)

-2.84 (Estimated value, KOWWIN)

有機炭素吸着係数 (Log Koc)

1 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

### Manganese sulfate (7785-87-7)

水生環境有害性 短期(急性)

甲殻類(オオミジンコ) 48時間 EC50 = 22.8 mg/L[8.28 mgMn/L 換算値] (環境省環境リスク評価(第10巻):2008, NITE 初期リスク評価書: 2008) であることから、区分3とした。

# 安全データシート

## Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Manganese sulfate (7785-87-7)	
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、金属塩の水中での挙動は不明であるが、金属は元素であるため難分解とみなされ、対水溶解度が 389,000 mg/L であり、魚類 (ニジマス) の 100 日間 NOEC (生存率) = 2.1 mg/L [0.77 mg/Mn/L 換算値] (NITE 初期リスク評価:2008) であることから、区分外となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、金属塩の水中での挙動は不明であるが、金属は元素であるため難分解とみなされ、対水溶解度が 389,000 mg/L であり、藻類 (Nitzschia closterium) 96 時間 EC50 (POP、非キレート培地) = 70.6 mg/L [25.7 mg/Mn/L] (環境省リスク評価第 10 巻:2008) であることから、区分 3 となる。以上の結果から、区分 3 とした。
LC50 - 魚 [1]	3.17 mg/l (96 h, Oncorhynchus mykiss, Flow-through system, Fresh water, Weight of evidence, Manganese ion)
LC50 - 他の水生生物 [1]	3 mg/l Source: ECHA
EC50 - 甲殻類 [1]	22.8 mg/l
EC50 72h - 藻類 [1]	61 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, Desmodesmus subspicatus, Static system, Fresh water, Experimental value, Growth rate)
ErC50 藻類	70.6 mg/l

### 残留性・分解性

Raka-Ray No. 3 Agar	
残留性・分解性	急速分解性でない
Citric acid ammonium salt (3012-65-5)	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in water.
Manganese sulfate (7785-87-7)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable.
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable (inorganic)
ThOD	Not applicable (inorganic)

### 生体蓄積性

Raka-Ray No. 3 Agar	
生体蓄積性	データなし
Citric acid ammonium salt (3012-65-5)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative.
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.84 (Estimated value, KOWWIN)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
Manganese sulfate (7785-87-7)	
生体蓄積性	No bioaccumulation data available.

# 安全データシート

## Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

### 土壌中の移動性

Raka-Ray No. 3 Agar	
土壌中の移動性	データなし
Citric acid ammonium salt (3012-65-5)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.84 (Estimated value, KOWWIN)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil.
Manganese sulfate (7785-87-7)	
生態系 - 土壌	No (test)data on mobility of the substance available.

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

UN RTDGIに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

# 安全データシート

Raka-Ray No. 3 Agar

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

## 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

## 15. 適用法令

### 国内法令

- 労働安全衛生法 : 作業環境評価基準（法第65条の2第1項）  
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9）  
マンガン及びその無機化合物（別表の番号：30）  
【改正後 令和8年4月1日以降】  
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9）  
マンガン及びその無機化合物（別表の番号：30）
- 水質汚濁防止法 : 有害物質（法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条）  
指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）
- 大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質、優先取組物質（中央環境審議会第9次答申）
- 下水道法 : 水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4）
- 労働基準法 : 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

## 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。